

# 仙台二中 防災だより

第2号

令和5年度 第2号  
令和5年5月24日発行

発行者 防災主任

## 第1回避難訓練～素早い避難行動

5月9日(火)6校時に地震を想定した、今年度の第1回避難訓練を実施しました。今回の訓練は、各教室からの避難経路を確認することと、在校中に震度5弱以上の地震が発生して電気などのライフラインが無事な場合に地区ごとに集団下校する際の担当の先生と同じ地区の人たちとの顔合わせが主な目的でした。

放送の指示で机の下に隠れた後、生徒の皆さんは学級担任の指示に従って、校舎内では「お・は・し・も」を守って、真剣に取り組んでいました。

- お…押さない
- は…校舎内では走らない
- し…しゃべらない
- も…戻らない

避難開始から担任の先生の指示・誘導で校庭に避難し、点呼完了まで約3分という素早い行動でした。



## なぜ学校で避難訓練をするの？

東日本大震災から12年経ち、当時の記憶がほとんどない世代が増えてきました。私たちは、東日本大震災と将来に起こり得る大きな災害の間(「災間(さいかん)」)に生きています。

**約300人の二中生の皆さん全員が安心して学校生活を送れるように、年4回の避難訓練を通して、「自分たちの命を守る」自助の力を身に付けさせます。**

ある統計によると、阪神淡路大震災から東日本大震災までの期間に教員が学校にいる時間帯に震度6弱以上の地震が発生した割合は2割強というデータがあります。ここ最近、国内外のあちこちで地震が頻繁に起こっており、大きな災害はいつ起こるか分かりません。学校にいない時間帯や休日に地震が発生したときにどのように行動すべきか、ぜひ御家庭でも改めて話し合う機会を設けていただければと思います。

